

## 第5回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和4年8月23日(火)、30日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖・八ヶ岳星降る縄文インスタ投稿キャンペーン」の開催について
- **出演者** 諏訪地域振興局企画振興課 山口 勇治

- 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) 「日本遺産」という言葉は聞いたことはありますが、どのようなものか教えてください。

(A) はい。日本遺産は歴史的背景や地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承・風習などを踏まえたストーリーが認定されたものです。そのストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、活用・発信することで、地域活性化を図ることを目的としています。

(Q) なるほど、ストーリーが認定されるという部分に特徴があるんですね。その日本遺産がこの諏訪地域にも存在しているというのは本当ですか。

(A) そうなんです。星降る中部高地の縄文世界というタイトルで認定されている日本遺産があります。八ヶ岳を中心として長野県・山梨県の複数市町村が対象地域になっており、諏訪地域6市町村も該当します。

(Q) 星降るというタイトルがとても素敵ですね。何がタイトルの背景になっているのでしょうか？

(A) 星とは黒曜石のことを指しています。諏訪地域には黒曜石が出土する遺跡が複数ありますが、星ヶ塔、星ヶ台など星の名がつく高原地帯で発見されています。足元でキラキラ光る黒曜石のかけらを、地元の人たちが空から降ってきた星のかけらと信じたことからこうした地名が生まれたと伝えられています。それ以外にも土器や土偶など、縄文時代の魅力を感じられるものは複数ありますね。

(Q) 大変興味深いですね。今回、そういった縄文の魅力を知っていただくためのイベントが開催されると聞きました。

(A) そうなんです。日本遺産【星降る中部高地の縄文世界】を若い世代をはじめ、多くの方々に知っていただきたいということで、諏訪地域にある博物館等6施設においてインスタグラムを活用した周遊キャンペーンを開催します。

- (Q) キャンペーンの内容について詳しく教えてください。
- (A) イベント期間中、対象施設に特設ブースを設置します。その特設ブースの写真を撮り、ハッシュタグ【#星降る縄文】及び【#（博物館名）】を付けて自身のInstagramに投稿していただいた画面を施設スタッフに見せるとスタンプがもらえます。そのスタンプを3館分集めた方にはオリジナルデザインのノベルティをプレゼントします。ノベルティはサコッシュという小型のバッグを用意してあります。在庫が無くなり次第終了となりますのでお早めにご参加ください。
- (Q) 特設ブースにはどんな展示がされているのでしょうか？
- (A) 学芸員の皆さんがお持ちの豆知識の中から、若い方や縄文への興味関心が薄い層でも「わかりやすい、おもしろい」となるものをPOP等も活用しながら展示物と一緒に公開します。ただ見て回るのではなく、展示の背景にある小ネタなんかを楽しんでいただきながら各施設を回っていただければと思います。
- (Q) それはぜひとも参加したいですね。開催期間や対象施設について教えてください。
- (A) 開催期間は8月6日から11月6日までの3ヶ月間です。対象施設は市立岡谷美術考古館、諏訪市博物館、茅野市尖石縄文考古館、星ヶ塔ミュージアム矢の根や、井戸尻考古館、八ヶ岳美術館の6館です。イベントの詳細については、諏訪地域振興局企画振興課のホームページで紹介をしていますのでぜひそちらをご覧ください。
- (Q) このイベントで縄文時代に触れることで、多くの皆さんに諏訪地域の魅力を感じてもらいたいですね。本日はありがとうございました。